

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(1) 健康教育・健康相談				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
健康相談事業	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規		
事業の概要										
健康増進法に基づく健康増進事業による健康相談を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。 事業の主な内容は、血圧測定・体重の測定を始め、尿検査、保健師・栄養士による健康及び栄養に関するアドバイスを通して市民の健康づくりに寄与する。										
平成29年度実績										
1)総合健康相談・・・まちの健康相談室48回/年含む 実施内容:健康に関する相談、健診結果の説明、血圧・体重測定、尿検査(希望者のみ) 実施回数:延べ65回 参加者数:延べ 291人 2)重点健康相談 実施内容:病態及び歯周病疾患等に関する相談、血圧・体重測定 実施回数:延べ23回 参加者数:延べ52人 延べ343人 総計:88回									決算額	
									200千円	
									実績値	
									88回	
									進捗状況	
									4	
事業に対する評価・課題等										
・重症化ハイリスク者に対して、健診結果説明会の利用勧奨を実施することにより、健診受診後の治療放置予防に役立っている。 ・歯科相談と健診結果説明会を同時開催とし、来所者の待ち時間を利用しながら個々の状況に応じた相談・指導が実施できた。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4	
平成30年度予定										
・まちの健康相談(健診結果説明会同時開催)の市役所会場2階大会議室が改築の都合で使用不可となり、庁舎内の別会場を使用する。会場広さ等に合わせて参加者に負担が生じないように留意する。 ・まちの健康相談開催日を各医療機関に掲示依頼を行い、様々な保健事業を通じて市民に広く周知し、活用を促進していく。 ・定例日以外にも、随時、来庁・電話相談等による相談が可能であることを周知していく。									予算額	
									256千円	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(1) 健康教育・健康相談				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
健康教育事業	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規		
事業の概要										
健康増進法に基づく健康増進事業による健康教育を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。 事業の主な内容は、生活習慣病予防をはじめ市民の健康づくりを目的とした運動、栄養等に関する知識の普及と実践への支援を行う。										
平成29年度実績										
1)一般健康教育(生活習慣病予防、健康増進の方法等) 実施回数:44回 延べ人数:231人 2)重点健康教育(歯周疾患、ロコモティブシンドローム、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、病態別、薬) 実施回数:87回 延べ人数:2,150人 3)広報うわじま「健康づくり通信」掲載・・・毎月 4)健康づくりパネル展の実施 5)うわじま健康マイレージ事業「うわじま歩ポ」開始・・・登録者4,452人(対象者は18歳以上)									決算額	
									533千円	
									実績値	
									131回	
									進捗状況	
									4	
事業に対する評価・課題等										
・従前の実施に加え、健康づくり施策として「うわじま健康マイレージ事業」を開始し好評を得た。インセンティブであるクーポンや達成券を利用できる市内取扱店は252店舗あり、市民の健康づくりを行政や民間企業等で支援する循環型の新しい施策となった。 ・地域包括支援センターの介護予防事業にも協働で取組むことを始めた。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
・従来の健康教育・うわじま歩ポ・介護予防事業等の円滑な実施により、ライフステージに沿った健康づくりを展開する。									予算額	
									757千円	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(1) 健康教育・健康相談				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
高齢者サロンへの医療出前講座	病院局 (吉田病院)	-	18回	①充実		②継続		③新規	●	
事業の概要										
高齢者の健康支援のため、医師・看護師・栄養士・理学(作業)療法士・薬剤師等が地域の高齢者サロンに出向き、医療(健康)講座・相談を行う。(24年度より実施中)										
平成29年度実績										
平成29年度開催実績なし(高齢者サロンより依頼がなかったことも要因と言える)									決算額	
									-	
									実績値	
									左記のとおり	
									進捗状況	
									1	
事業に対する評価・課題等										
主となる担当者が3月末で退職したため、取りまとめる担当が不在であり、実施することができなかった。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									-	
平成30年度予定										
当年度は実施できるように計画中である。									予算額	
									-	
									目標値	
									18回	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(1) 健康教育・健康相談				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	10回	50回	①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。										
平成29年度実績										
津島地区の各自治会集会所等において、病院長及びスタッフが住民と医療について懇談を行った。 実施回数 9回 出席者数 118人									決算額	
									-	
									実績値	
									9回	
									進捗状況	
									3	
事業に対する評価・課題等										
現院長就任から約10年間実施しているが、自治会の実施要望は思うように増加しない。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									3	
平成30年度予定										
自治会単位での実施を継続していき、ニーズに応えることができるように懇談を行っていく。									予算額	
									-	
									目標値	
									50回	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(2) 生活習慣病予防教室				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
特定保健指導の推進	保険健康課	36.2%	60%	①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査の結果に基づく階層化により、生活習慣改善の必要度に応じた「積極的支援」「動機づけ支援」「情報提供」の分類を行い、それぞれに即応した特定保健指導を行う。 特定保健指導は、市民自らが生活習慣改善の目標を設定し、実践するものであり健康に関する自己管理ができ、結果として内臓脂肪症候群の改善を目的として実施する。										
平成29年度実績										
特定保健指導(県費実績報告H30.3月末暫定値) ※法定報告確定は11月頃 積極的支援 当該年度対象者 254人 実績:指導終了者40人、初回面接のみ終了36人、評価終了32人 動機づけ支援 当該年度対象者 570人 実績:指導終了者73人、初回面接のみ終了115人、評価終了120人									決算額	
									742千円	
									実績値	
									未確定	
									進捗状況	
										5
事業に対する評価・課題等										
・特定保健指導の目的と流れを可視化したカードを作成し、受講者と共有を図り指導の効果向上に役立てた。 ・指導用資料として、行動変容チェックシートやエネルギー早見表を作成し活用した。 ・記録用紙を簡略化し事務事業の効率化を図った。 ・特定健康診査等実施計画(第3期)をデータヘルス計画(第2期)と一体化して策定。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
・特定健康診査等実施計画(国:第3期)の特定保健指導に係る改定事項に準拠した実施体制の構築を行う。									予算額	
									877千円	
									目標値	
									60%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(2) 生活習慣病予防教室				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行う。										
平成29年度実績										
○実施回数 33回(夜間糖尿病教室3回を含む) ○延参加者数 1084人(入院140人 外来944人)									決算額	
									-	
									実績値	
									左記のとおり	
									進捗状況	
5										
事業に対する評価・課題等										
・定期的な開催が継続できている。広報うわじまや病院ホームページ、院内ポスター掲示、開催当日の院内放送などで、市民に広く浸透し、糖尿病予防の啓発が図れた。 ・内科のみならず皮膚科、歯科口腔外科、眼科、泌尿器科、整形外科などの医師や栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師、看護師のコアスタッフに加え、臨床心理士、歯科衛生士、総務管理課、地域連携室職員による講話を実施し、多角的に糖尿病の理解を深めることができた。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
昼間糖尿病教室:年間30回 夜間糖尿病:3回開催 平成29年度同様に医師・コメディカル・事務部門の病院スタッフが講師となる予定。患者会(パール会)活動を通して世界糖尿病デーのイベントも実施予定である。									予算額	
									-	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(2) 生活習慣病予防教室				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防に繋げるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行う。										
平成29年度実績										
○実施回数 12回 延参加者数172人(入院患者:5人 外来患者:167人)									決算額	
									-	
									実績値	
									左記のとおり	
									進捗状況	
									5	
事業に対する評価・課題等										
定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は随時院内放送を実施していることから、患者や市民に広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発が図れた。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
今年度も定期的に周知及び教室を開催し、円滑に運用できるよう努める。									予算額	
									-	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(2) 生活習慣病予防教室				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
肝臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続		③新規	●	
事業の概要										
入院患者や外来患者を対象として、医師による肝臓病についての正しい知識や治療法に関する講義を行うほか、栄養士による栄養食事指導を行い、実践につながる学習機会の提供を行う。										
平成29年度実績										
○実施回数 4回 ○延参加者数 41人(入院患者:5人 外来患者:36人)									決算額	
									-	
									実績値	
									左記のとおり	
									進捗状況	
									5	
事業に対する評価・課題等										
広報うわじまや院内掲示ポスター、他の教室参加者への声かけを実施することにより参加人数が増加し、患者の向上及び普及に取り組めた。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
内科医師、栄養士、薬剤師のほか、平成30年度より看護師、リハビリテーション技師も加えて、年間4回の実施を予定している。									予算額	
									-	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(2) 生活習慣病予防教室				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
生活習慣病予防のためのお料理教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続		③新規	●	
事業の概要										
生活習慣病予防のために、食事内容の改善につながることを目的に、栄養士が減塩や野菜たっぷりのレシピを作成し、調理師とともに実習を行い、実践につながる調理自習の機会を提供する。										
平成29年度実績										
○実施回数 10回 ○延参加者数 45人(入院患者:0人 外来患者数 45人)									決算額	
									-	
									実績値	
									左記のとおり	
									進捗状況	
									5	
事業に対する評価・課題等										
毎回のテーマに沿った献立を立案し、講義と調理実習を通して生活習慣病予防のため、日常的な実践に繋がる情報を提供した。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
月1回実施予定(ただし8月、1月は休み)									予算額	
									-	
									目標値	
									月1回実施	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(3) 壮年期からの健康づくり				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
心の健康相談事業	保険健康課			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
心の健康に関する相談事業をいう。 当該事業は、個別の相談に対して、相談窓口の周知による情報提供及び必要な助言を行うことにより、個々のもつ悩みを軽減することを目的として実施する。近年は、うつ病に関する相談をはじめ精神障害に関する相談や社会復帰のための相談が多くなっている。 事業の従事者としては、精神科医師、保健師等で対応する。										
平成29年度実績										
実施場所 宇和島市役所 日 程 【精神科医師】偶数月 第2水曜日 【保健師】随時 利用状況 【精神科医師】実人数 8人 延人数 8人 相談内容…うつ病、統合失調症、発達障害、対人関係等 【保健師(来所相談)】実人数 103人 延人数 256人 相談内容…老人性精神病、アルコール依存症、薬物、ギャンブル、思春期、こころの健康づくり等 【保健師(電話相談)】延人数 161人									決算額	
									-	
									実績値	
									425人	
									進捗状況	
									5	
事業に対する評価・課題等										
・医師相談は、本人や家族からの相談だけでなく、近隣住民や支援者も利用。本人への間接的な支援の場にもなっている。 ・相談者の年齢は30～70歳代と幅広い年齢層に対応している。 ・相談後は、ほとんどのケースで継続支援を行っている。受診につながり改善しているケースもある。相談をきっかけに、「いつでも、相談できる。」という安心に繋っている。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
①相談や治療につながったケースについて、相談機関や医療機関等と連携し、継続的にフォローする。 ②相談者への情報提供を充実する。 ・相談機関や専門医療機関、治療に関する情報や本人・家族でできる具体的対処方法(気づく・つなぐ・見守るの具体的方法)の提示など									予算額	
									-	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(4) 男性に対する健康づくり支援				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
心の健康づくり教育事業	保険健康課			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
心の健康づくりに関する知識の普及を図ることを目的として、全市民を対象とした各地区公民館、各種団体等に出向き保健師による健康教育を実施する。										
平成29年度実績										
心の健康づくり健康教育 年間計画に基づき健康教育を実施 年間回数 28回 延人数 328人 対象者 一般住民、食生活改善推進委員、児童 内 容 ①心の健康づくり ②ゲートキーパーになろう ③こころの病気にならないために ④自己肯定感を育てる									決算額	
									626千円	
									実績値	
									328人	
									進捗状況	
									5	
事業に対する評価・課題等										
・ライフステージに応じた内容や各地区の状況に合わせた内容で健康教育が実施出来た。 ・若い世代(小・中・高校生)に向けた「SOSの出し方」教育を検討する必要がある。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
・年間計画に基づいた健康教育の実施 ライフステージごとの保健事業を活用した教育、パネル展を開催し広く市民に心の健康づくりの啓発を予定									予算額	
									775千円	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(5) 喫煙・飲酒に対する対策				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	92%	100%	①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
喫煙、飲酒の健康被害について情報を提供する。 「心身ともに健康な子」の育成。										
平成29年度実績										
保健指導における喫煙・飲酒の健康被害について、理解・意識が高まるよう指導内容・方法の改善に努めた。 学校通信等により、保護者等への啓発を継続的に行った。 非行防止教室を実施し、学級指導の充実を図りながら、指導効果を高めた。									決算額	
									実績値	
									93%	
									進捗状況	
									4	
事業に対する評価・課題等										
生活習慣への関心が高まり、喫煙・飲酒の健康被害、薬物の恐ろしさについての理解が深まった。 校内だけでなく、家庭や関係機関と連携を密に取りながら、啓発活動に取り組む必要がある。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4	
平成30年度予定										
薬物乱用防止教室を実施し、薬物乱用、喫煙、飲酒の危険性について正しい知識を身に付ける。 学校だより、学級通信、ほけんだより、ホームページ等で、家庭や地域へ、喫煙、飲酒等の健康被害についての情報を提供する。 保健の授業や学校掲示物での啓発、薬物乱用教室による意識向上を目指す。									予算額	
									目標値	
									100%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(5) 喫煙・飲酒に対する対策				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
不特定多数の住民が利用する公民館において受動喫煙防止策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を実施し達成する事ができた。										
平成29年度実績										
平成24年度で全館施設内禁煙を達成することができた。									決算額	
									0千円	
									実績値	
									30館	
									進捗状況	
									5	
事業に対する評価・課題等										
市が管理している公民館は、市の方針として実施できているが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									-	
平成30年度予定										
市が管理している公民館は目標を達成できたが、地元管理の集会所を兼ねた公民館についても施設内禁煙を目指したい。									予算額	
									0千円	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(5) 喫煙・飲酒に対する対策				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
禁煙外来の開設	病院局(宇和島・津島病院)			①充実		②継続		③新規	●	
事業の概要										
禁煙はこれまで個人の意志や努力の問題とされてきましたが、平成16年より厚生労働省は医師による禁煙指導を「ニコチン依存症」という病気に対する「治療」と位置づけ、公的医療保険の給付対象としました。 禁煙外来では、禁煙の実行・継続にむけてのアドバイスや治療薬の処方を行うことにより、禁煙をサポートすることを目的としています。 ○宇和島病院＝心臓血管外科外来にて。毎週金曜日午後1時30分～午後3時30分 ○津島病院＝内科外来にて。毎週火曜日午後2時～4時										
平成29年度実績										
○市立宇和島病院 ①ニコチン依存症管理料算定患者数 10名 ②上記のうち、禁煙治療を終了した者 9名 ③上記のうち、禁煙に成功した者 9名 ○津島病院 当年度実績なし									決算額	
									-	
									実績値	
									左記のとおり	
									進捗状況	
									4	
事業に対する評価・課題等										
患者総数は減少しているが、多くの患者が最後まで治療を行っている。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
今後も継続して検診時に案内等行い、患者数の増加を目指す。									予算額	
									-	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり																														
推進方策	2 生涯を通じた健康支援																														
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(6) 安心して子どもが産める環境づくり																									
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向																											
		現状値(H28)	目標値(H29)																												
妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	97.7%	100%	①充実		②継続	●	③新規																							
事業の概要																															
母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。																															
平成29年度実績																															
〈対象〉宇和島市に住民登録をしている妊婦 〈内容〉 ・昨年度と同様に妊娠期を通して公費負担回数を14回として実施。 ① 妊婦一般健康診査 (1) 5枚綴り分(A券) <table><tr><td></td><td>交付数</td><td>受診数</td><td>受診率(%)</td></tr><tr><td>1回目</td><td>408</td><td>390</td><td>95.6%</td></tr><tr><td>2回目</td><td>417</td><td>409</td><td>98.1%</td></tr><tr><td>3回目</td><td>417</td><td>404</td><td>96.9%</td></tr><tr><td>4回目</td><td>424</td><td>414</td><td>97.6%</td></tr><tr><td>5回目</td><td>429</td><td>387</td><td>90.2%</td></tr></table>			交付数	受診数	受診率(%)	1回目	408	390	95.6%	2回目	417	409	98.1%	3回目	417	404	96.9%	4回目	424	414	97.6%	5回目	429	387	90.2%	(2) 9枚綴り分(B券)				決算額	
			交付数	受診数	受診率(%)																										
		1回目	408	390	95.6%																										
		2回目	417	409	98.1%																										
		3回目	417	404	96.9%																										
		4回目	424	414	97.6%																										
		5回目	429	387	90.2%																										
			交付数	受診数	受診率(%)	34,914千円																									
		1回目	414	397	95.9%	実績値																									
		2回目	419	401	95.7%	95.6%																									
3回目	424	390	92.0%	進捗状況																											
4回目	427	381	89.2%	5																											
5回目	429	364	84.8%																												
6回目	430	344	80.0%																												
7回目	431	281	65.2%																												
8回目	431	202	46.9%																												
9回目	431	130	30.2%																												
事業に対する評価・課題等																															
・妊婦健診初回(5枚綴り1回目)の受診率は95.6%であり、昨年度よりも若干下がった。(H28年度97.7%) ・妊婦健診の結果から、高血糖妊婦の割合が県下で高い状況であるため、高血糖妊婦に対しては妊娠中より栄養指導等を行っている。朝食欠食率も 6.8%あり、妊娠期における食事指導を行う必要がある。																															
男女共同参画の視点での評価																															
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-																							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-																							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-																							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-																							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-																							
平成30年度予定																															
・今後も母子健康手帳交付時に、妊婦健診受診の必要性や利用方法について説明し、妊娠期の栄養指導等健康管理を支援していく。								予算額																							
								37,415千円																							
								目標値																							
								100%																							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標		Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策		2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策		1 市民の健康づくり支援				(6) 安心して子どもが産める環境づくり					
関連事業		担当課		数値目標		計画(第2次)での方向					
				現状値(H28)	目標値(H29)						
妊産婦相談		保険健康課				①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要											
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。											
平成29年度実績											
(対象)宇和島に住民登録をしている妊産婦 (従事者)保健師・管理栄養士・助産師 (内容)個々の妊産婦に応じた相談 (場所・回数) ・母子健康手帳交付時における妊婦相談： 411人 ・定例妊産婦相談(育児相談と同時開催): 宇和島保健センター、吉田公民館、三間保健福祉センター、津島保健センター計48回 【妊婦】相談者(実) 7人、相談者数(延) 14人 【産婦】相談者(実) 47人、相談者数(延) 67人 ・随時妊産婦訪問 【妊婦】実人数 4人(延人数 8人) 【産婦】実人数 23人(延人数 48人)										決算額	
										0千円	
										実績値	
										48回	
										進捗状況	
										4	
事業に対する評価・課題等											
・定例日の妊産婦相談は、乳幼児の育児相談を兼ねて来所する人が多い。 ・特定妊婦については連絡票をもとに関係機関と連携し、児童虐待予防に取り組み、継続した支援を行っている。 ・母子健康手帳交付時には、妊娠中保健師や栄養士が相談に応じれることを説明し、出産に対する不安軽減に努めている。また、支援が必要な妊婦については地区担当保健師が対応、継続支援を行っている。											
男女共同参画の視点での評価											
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか										－	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか										－	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか										－	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか										－	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか										－	
平成30年度予定											
・今後も、母子健康手帳交付時にアンケートや面接によりハイリスク妊婦を把握する。また、児童虐待予防の視点からも妊娠中から、関係機関との連携を強化し、支援を行う。 ・母子健康手帳交付時に、相談先を載せた連絡先カードを配布し、気軽に相談ができるようにする。また継続して妊産婦相談の周知も行う。										予算額	
										0千円	
										目標値	
										－	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり										
推進方策	2 生涯を通じた健康支援										
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(6) 安心して子どもが産める環境づくり					
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向							
		現状値(H28)	目標値(H29)								
母子健康手帳の交付事業	保険健康課			①充実		②継続	●	③新規			
事業の概要											
妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。											
平成29年度実績											
(対象)宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦 (場所)本庁及び支所窓口にて交付 (内容)母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票・妊婦歯科健康診査受診票交付、保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明 (従事者)保健師・助産師				① 交付数・フォロー実施数				決算額			
				交付数		(再掲)			92千円		
				411人		初産婦 167人 (40.6%)	未入籍 73人 (17.8%)	18歳以下 11人 (2.7%)		実績値	
				② 妊婦の喫煙状況 (妊婦アンケート回答427人)				411人			
				非喫煙 401人		時々、毎日喫煙(率) 22人(5.5%)	禁煙希望 8人		進捗状況		
				③ 同居家族の喫煙状況 (妊婦アンケート回答427人)				5			
非喫煙 246人		喫煙(率) 172人(40.3%)	禁煙希望 53人								
事業に対する評価・課題等											
・母子保健のスタートである母子健康手帳交付時に保健師・助産師が関わることで、アンケートや面接によりハイリスク妊婦の把握を行い、虐待予防の視点から必要な支援へとつないでいる。特に支援が必要な妊婦については、地区担当保健師が母子手帳を交付するなど、保健師と妊婦がお互いの顔が分かる関係づくりを行っている。 ・母子健康手帳交付時、夫婦で来庁される場合も多く、妊娠・出産についての不安を夫婦で共有し、相談することができている。											
男女共同参画の視点での評価											
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									-		
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									-		
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									-		
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									-		
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									-		
平成30年度予定											
・母子保健のスタートである母子健康手帳交付時に保健師が関わり、ハイリスク妊婦の把握とともに、妊娠中から産後の関わりへと切れ目のない支援を行う。 ・喫煙習慣のある妊婦及び同居家族に対しては、母子健康手帳交付時に喫煙(受動喫煙含む)による胎児や母胎への影響についてパンフレット等を用いて情報提供を行い禁煙を勧める。 ・3ヶ月児健診時点で、喫煙している産婦の割合を調査し、禁煙への行動変容について分析していく。 ・母子手帳交付時、全ての妊婦へ市役所・各支所の連絡先カードを配布することで妊婦が1人で悩むことなく相談できる環境を提供する。									予算額		
									79千円		
									目標値		
									-		

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(6) 安心して子どもが産める環境づくり				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
安産教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
妊婦の健康管理の必要性についての啓発や妊娠・出産に関する不安等に対応できる相談を行うもの。										
平成29年度実績										
・毎月第1、3、4火曜日に実施(第1火曜日は栄養指導も実施) ・栄養指導は管理栄養士による指導を行っている。 ・H29年度 実施回数 35回 参加延べ人数 106人									決算額	
									-	
									実績値	
									左記のとおり	
									進捗状況	
事業に対する評価・課題等										
該当者には検診時にお知らせしていることもあり、一定の参加者は確保できている。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									-	
平成30年度予定										
今後も案内を行い、定期的に開催し、妊娠や出産の不安等を解消できるよう努めていく。									予算額	
									-	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援					(6) 安心して子どもが産める環境づくり				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
育児学級	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来に来られた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。										
平成29年度実績										
参加者なし									決算額	
									-	
									実績値	
									左記のとおり	
									進捗状況	
-										
事業に対する評価・課題等										
産婦の希望者も少なく、助産師不足のため、活動できていない状態である。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-		
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-		
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-		
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-		
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-		
平成30年度予定										
退院1週間後の電話訪問や産褥1ヶ月の検診時の保健指導と併せて、産婦の不安やストレスの軽減に努めていく。									予算額	
									-	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実					(1) HIV／エイズや相談の充実				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
HIV/エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
全国における平成23年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数(確定値)は1,529件であり、平成19年以降患者数の多い状態のまま推移している。平成23年の新規HIV感染者は1,056件で過去4位の報告数となり、また新規エイズ患者報告数は473件で過去最多の報告数となっている。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要がある。愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めている。市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するほか、健康教育において感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。										
平成29年度実績										
○「世界エイズデー」ポスター保険健康課窓口掲示 ○県「エイズ予防週間」・県「エイズ夜間相談検査」 ・リーフレット 各支所・各保健センター設置 ・12月広報に記事掲載									決算額	
									0千円	
									実績値	
									100%	
									進捗状況	
									3	
事業に対する評価・課題等										
HIV/エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発に努めることにより、偏見・差別を解消し、拡大する感染の抑止となっている。また、HIV/エイズ・性感染症に関する偏見・差別のない社会を構築することにより、男・女・年齢にかかわらず検査を受けやすい環境を整備するため、今後も継続して啓発に努める必要がある。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									－	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									－	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
ポスター掲示 チラシ配布・設置 広報記事掲載									予算額	
									0千円	
									目標値	
									－	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実					(1) HIV／エイズや相談の充実				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	90%	100%	①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識を普及する。 性に関する指導の充実。 「心身ともに健康な子」の育成。 学校での児童が、発達段階に応じた知識を身につけ、適切な行動が取れるようにするための教育の推進。										
平成29年度実績										
性に対する正しい知識や認識をもち、自他の性や命を大切にする態度を性教育を通して養った。 人権・同和教育の視点から、HIV/エイズ及びハンセン病への知識を身に付け、偏見をなくす学習をした。 保健の授業において、命の大切さ、性、HIVについて指導を行った。									決算額	
									実績値	
									91%	
									進捗状況	
									4	
事業に対する評価・課題等										
発達段階に応じた、系統的な指導を行うための研修が必要である。 専門的な知識を備えた養護教諭のアドバイスで、児童の理解が深まった。 生徒については、正しい知識を学ぶことはできているが、家庭への啓発も必要である。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4	
平成30年度予定										
発達段階に応じた学習方法を工夫して、性に関する指導の充実を図る。 エイズやハンセン病患者の問題に関する人権学習を進めていく。 保護者への啓発や連携を強めていく。 養護教諭や人権委員会とも連携し、道徳・学活等での取り組みの検討をする。									予算額	
									目標値	
									100%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実				(2) 発達段階に応じた生命と人権を大切にする 性教育の推進					
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	92%	100%	①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
生命尊重・人格尊重・男女平等の精神に基づき自分自身を大切にし、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるよう、指導を推進する。 心身ともに健康な子の育成。										
平成29年度実績										
生命尊重・人権尊重・男女平等・国際理解の精神を育まれるよう、道徳全体計画及び年間指導計画の見直しを行った。 道徳・学級活動を中心に、相手を思いやる心情の大切さについて指導した。 心の教育の重要性を確認し、教科・道徳・特別活動において実践した。									決算額	
									実績値	
									92%	
									進捗状況	
										4
事業に対する評価・課題等										
縦割り班活動や全校給食など教育活動全体を通して、お互いの存在を認め合う行動が取られてる。 学習したことを学校・家庭・地域で実践していくことができるよう、保護者と協力しながら指導していきたい。 人権に関する意識が向上した。学習したことを学校生活で実践していく力を高めていきたい。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4	
平成30年度予定										
自己有用感、自己肯定感が生まれるよう、学級活動や指導を続ける。 自分自身を大切にすることのみならず、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるよう、指導を推進する。									予算額	
									目標値	
									100%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備					(1) 健康診査				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実		②継続	●	③新規		
基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	30.0%	60%	①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
宇和島市国民健康保険被保険者の内、40歳から74歳の者を対象として実施する健康診査をいう。 糖尿病等の生活習慣病が起因とされている内臓脂肪症候群の該当者を早期に発見し、特定保健指導につなげることを目的として健康診査を行う。市民の健診に関する関心度や仕事が忙しいなどの理由による健診離れが進んでおり、健診の重要性を周知徹底する必要があると感じている。 健康の基本は、健診からであることを周知することにより受診率アップに努める。										
平成29年度実績										
・特定健康診査及び後期高齢者健診 実施期間： 個別(6月～2月) 集団(6月～2月) ・受診実績(直近速報 暫定値) 特定健康診査： 4,896人(27.7%) 後期高齢者健診： 645人(4.1%) ・済生丸検診における特定健康診査費用決済の開始									決算額	
									46,564千円	
									実績値	
									29.5%	
									進捗状況	
									4	
事業に対する評価・課題等										
・特定健診の受診率は、H26年度自己負担無料化から飛躍的に向上しH27年度は30.0%に達したが、H28年度29.5%と停滞している。国の目標の60%に向けて引き続き受診率向上を図る必要がある。 ・健診の習慣化や不定期受診者へのアプローチにより、全受診者のうち継続受診者及び割合共に増加した。(継続受診H27と28比較:3,837人66.8%→4,000人74.3%) しかし、新規受診者数は減少しており受診率停滞の原因となっている。 ・次年度は、主たる健診会場の市庁舎大会議室が改築準備で使用不可のため受診率低下が予測される。受診しやすい環境を整え等の対策が必要										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
・市民が利用しやすい健診会場の確保、日程の設定 ・特定健康診査心電図検査の全員実施、受診率向上に係る効果的な勧奨通知等の委託、国保新規加入者への受診勧奨 ・若年者健診の開始(19～39歳で他に健診の機会がない者)									予算額	
									71,490千円	
									目標値	
									60%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備					(1) 健康診査				
関連事業		担当課	数値目標		計画(第2次)での方向					
			現状値(H28)	目標値(H29)						
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)		病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要										
1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日、金曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。										
平成29年度実績										
一般個人の受診のみならず、企業等の契約を積極的に受け入れている。 ・ドック受信者数 1日ドック : 1,116人 2日ドック : 298人 脳ドック : 127人 合計 1,541人									決算額	
									-	
									実績値	
									左記のとおり	
									進捗状況	
									-	
事業に対する評価・課題等										
人間ドック全体の受診者数は前年とそれほど差はなく、2日ドックの減少が目立つ。今後も検診内容を検討しつつ動向を探っていく必要がある。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
平成30年度から利用者のニーズに対応していくため、2日ドックに通院コースを追加した。									予算額	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり										
推進方策	2 生涯を通じた健康支援										
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備					(2) がん検診の体制整備					
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向							
		現状値(H28)	目標値(H29)								
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	7.5～20.9%	50%	①充実		②継続	●	③新規			
事業の概要											
健康増進法に基づき各種がん検診を実施する。 死亡原因の三大要因のうち、がん(悪性新生物)による死亡の減少は、全国と同様に当市においても急務であるとする。がんの早期発見・治療なくしてがん死亡を減少させることは困難であることから、市民が受診しやすい体制づくりに努めると同時に、検診項目及び検診の精度管理等の充実に努め受診率アップを図る。 【対象年齢とがん検診項目】 ・20歳以上女性:子宮がん検診 ・30歳代女性:乳房超音波検診 ・40歳以上:胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・前立腺がん検診・乳がん検診(マンモグラフィ) ・50歳～60歳代女性:子宮体がん検診(経膈エコー検診) 【実施方法】 ・集団検診:胃がん(透視)・肺がん・肺CT・大腸がん・前立腺がん・子宮頸、体がん・乳がん・乳エコー ・個別検診:胃がん(透視、カメラ)・子宮頸がん											
平成29年度実績											
H29年度 がん検診実績							再掲)クーポン事業に係るがん検診受診状況				決算額
	胃	肺	大腸	前立腺	子宮頸	乳		子宮頸		乳(マンモ)	65,390千円
								受診者(人)	受診率(%)	受診者(人)	受診率(%)
受診者(人)	2,352	4,408	4,724	1,911	2,617	2,927	平成28年度	23	6.9	147	29.7
受診率(%)	7.3	13.6	14.6	14.5	12.3	15.2	平成29年度	21	7.9	132	29.9
										5	
事業に対する評価・課題等											
1) 受診しやすい検診体制の整備 ・年度末40歳の一部がん検診無料継続 ・子育て中が受診しやすい検診体制の整備(ボランティアの協力等) ・子宮頸がん・子宮体がんセット検診の実施 ・子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券送付(対象年齢者のみ) 2) 受診勧奨 ・特定健診の受診勧奨時にがん検診も勧奨した ・要精密検査者の受診勧奨を電話・訪問でタイムリーに行った											
男女共同参画の視点での評価											
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか										5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか										5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか										5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか										5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか										5	
平成30年度予定											
・子宮頸、乳がん検診無料クーポン廃止。替わって、年度末年齢で自己負担無料年齢の拡充を行う。 子宮頸がん検診:20,21,40歳及び70歳以上 乳がん検診:40,41歳 (下線はH30年度のための経過措置)										予算額	
										80,516千円	
										目標値	
										50%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備					(3) 地域医療の充実				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設3医師	8施設4医師	①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
宇和島市国民健康保険直営診療所(8診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりに寄与する。 平成28年度は医師(所長)3名体制であるが、平成29年7月末の戸島診療所長退任に伴い、以後は当面2名体制となる。引き続き各医師の確保に努めるとともに、各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させる。										
平成29年度実績										
平成28年度九島架橋完成にともない、平成28年4月1日から九島診療所を休止とし、平成29年3月31日を以て同診療所を廃止とした。 また、平成29年7月の戸島診療所医師退任に伴い、8施設2医師で医療体制を維持していくこととなり、蔦淵診療所長が遊子、下波、戸島を含めた4診療所を、日振島診療所長が喜路、能登出張所および嘉島診療所を兼任管理している。 今後も、各診療所が所在する地域の人口は減少傾向にあり、受診患者数も同様に減少していく見込みである。									決算額	
									195,503千円	
									実績値	
									8施設2医師	
									進捗状況	
									2	
事業に対する評価・課題等										
継続的に診療所医師募集は行っているが、医師の確保対策は非常に厳しい状況にある。給与等、報酬の増額は、制度・財政的に難しく、募集条件については現状を維持せざるを得ない。今後も継続して医師確保対策に努め、フルタイムでの勤務体制を維持していくことが求められる。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4	
平成30年度予定										
平成29年7月の戸島診療所医師退職に伴い、1名欠員となっている医師について、強力に医師確保対策を推進し、直営診療所の診療体制の維持に努める。									予算額	
									227,221千円	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備					(3) 地域医療の充実				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
宇和島市国民健康保険直営診療所で、診療船うわじまの維持管理(運航等)を行っている。この診療船を活用することにより、離島での医師の兼任管理、兼任管理中の緊急搬送等を行い、地域医療の充実を図るとともに、地域住民の生命の安全を確保している。										
平成29年度実績										
平成29年7月までは、月、水、金の午前中嘉島診療所の診療時間に合わせて運航。 平成29年8月から、月午後、金午前に医師渡航のため蔦淵⇄戸島間を定期運航、水午後に医師渡航のため宇和島港→嘉島→日振島を定期運航。 その他、施設修繕及び医療機器の導入等、診療所の維持管理に必要な事項について、不定期に運航している。 毎年度、年2回の定期ドックを実施し、診療船の維持管理を行っている。									決算額	
									5,736千円	
									実績値	
									1隻	
									進捗状況	
									4	
事業に対する評価・課題等										
宇和島市国民健康保険直営診療所は、民間医療機関の進出が望めない不採算性の高い地域に所在しているが、これらの地域は、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動手段は、主に公用車や診療船を利用している。特に離島においては、定期連絡船の運行数が少ない、渡航時間が長い、台風等悪天候時の運行停止等、不測事態となる時があるなど、比較的安定した航行の出来る診療船の果たす役割が非常に大きくなっている。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
平成30年度も戸島・嘉島診療所の兼任管理に伴う診療船運航を実施する。また、年2回の定期ドックを実施する。今後、診療日程及び兼任管理診療所の変更が必要となるが、適宜、実情に則した対応を行う。									予算額	
									6,473千円	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備					(3) 地域医療の充実				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
病院と診療所の連携強化	保険健康課			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化し、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。 診療所は1次医療機関として、患者の診察治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。 診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。										
平成29年度実績										
「開放型病院」オープンシステムの導入により、診療所からの紹介・入院した患者を診療所医師が市立宇和島病院で診察することができる。診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。									決算額	
									0円	
									実績値	
									進捗状況	
									3	
事業に対する評価・課題等										
離島であるため、患者の輸送手段が限定されるうえ、診療所医師の不在や診療所での受け入れ時の医療機器等設備不足の問題が生じ、市立宇和島病院からの患者受け入れに対応できない。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4	
平成30年度予定										
									予算額	
									0円	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備					(3) 地域医療の充実				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
病院と診療所の連携強化	病院局			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
入院を必要としない程度の方を対象に医療を提供している診療所(クリニック)や、生命に危険のある方を助ける3次救急医療や高度専門医療を提供する市立宇和島病院のような急性期病院が、自らの施設の機能や規模、特色、宇和島圏域の医療の状況に応じて、医療の機能分担や専門化を進め、円滑な連携を図るとともに、それぞれの医療機関の有する機能を有効かつ迅速に活用することにより、一層、受診者の方々がシームレスで適切な医療を受けることができるようにする。また、県内初の地域医療連携システムを導入することによって、各種地域連携パスとともに上記地域医療連携を促進する。										
平成29年度実績										
・地域医療連携システム(きさいやネット)参加医療機関数 83施設(前年度44施設) 病院及び診療所 : 58施設 訪問看護ステーション : 14施設 調剤薬局 : 11施設 ・脳卒中連携パス運用件数 71件(前年度69件)									決算額	
									-	
									実績値	
									左記のとおり	
									進捗状況	
									4	
事業に対する評価・課題等										
○きさいやネットは病院や診療所だけではなく、訪問看護ステーションや調剤薬局とも積極的に連携したこともあり、昨年度から大幅に増加した。 ○脳卒中連携パスでは協議会で情報交換等を行い、連携強化に努めた。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4	
平成30年度予定										
医療機能の分担を進め、円滑に医療が行えるよう連携を強化するとともに、きさいやネット参加施設の拡大を進めていく。									予算額	
									-	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり									
推進方策	2 生涯を通じた健康支援									
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備					(3) 地域医療の充実				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向						
		現状値(H28)	目標値(H29)							
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局			①充実		②継続	●	③新規		
事業の概要										
全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指す。										
○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。										
平成29年度実績										
・年3回の市民公開講座や化学療法・緩和ケアなどの研修を実施した。 ・がん相談センター窓口として、患者や家族から相談を受け、がん治療に関する情報提供や心理面での支援を行った。 平成29年度 面談相談：1,996件 電話相談：1,001件 ・前年に続いて、がん患者とその家族を対象としたがんサロン(さくらサロン)を設けた。 毎月約8名ほどの参加があった。									決算額	
									-	
									実績値	
									左記のとおり	
									進捗状況	
5										
事業に対する評価・課題等										
○研修を行うことでスタッフのスキルアップにつながった。 ○がん相談支援センター窓口として多数の患者または家族の支援ができた。										
男女共同参画の視点での評価										
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5	
平成30年度予定										
前年度から継続してがん診療連携拠点病院として患者、家族を多方面から支援していく。									予算額	
									-	
									目標値	
									-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-